

平成16年度八重山群島病害虫発生予報第4号(7月予報)

7月の気象予報 要素別予報

要素	気温	降水量	日照時間
予報	並	並	並

(平成16年6月25日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

域平均の要素別「平年並」の範囲

要素	気温()	降水量(mm)	日照時間(h)
八重山群島	29.1 ~ 29.5	76.6 ~ 148.0	253.4 ~ 288.0

(平成16年6月25日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

7月の発生予報

向こう1カ月間における農作物の主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

八重山群島

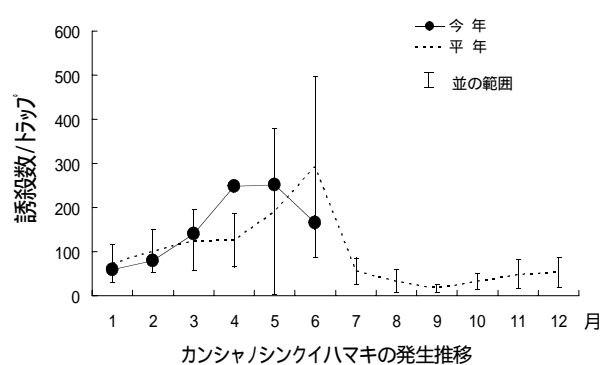
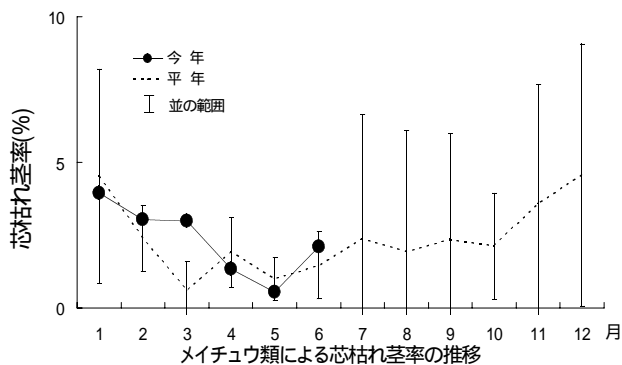
1 さとうきび

(1) メイチュウ類

発生程度：並

予報の根拠

- 6月中旬の調査の結果、芯枯れ茎率は2.1%（前年4.5%、平年1.5%）と平年並であった。
- 6月のカンシャノシンクイハマキ合成性フェロモンによるトラップ当たり誘殺数は、165.0頭（前年583.0頭、平年292.4頭）で平年並であった。



防除上注意すべき事項

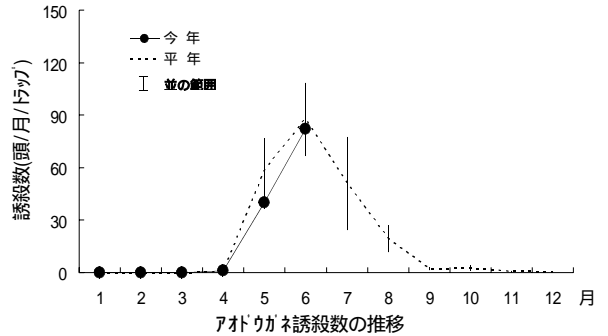
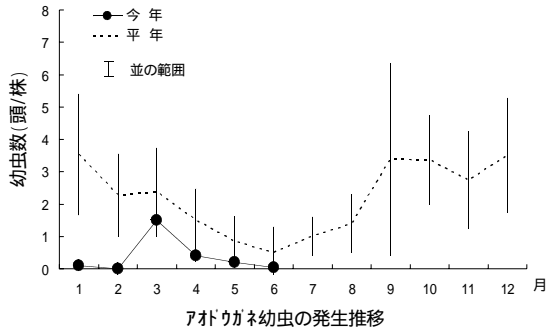
- 加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、生育初期の防除に重点を置く。
- 植え付け時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤を選定し施用する。

(2) アオドウガネ

発生程度：並

予報の根拠

- a 6月中旬の調査の結果、1株当たり幼虫数は0.1頭（前年0.0頭、平年0.8頭）と平年並であった。
- b 6月の予察灯への誘殺数は、82.0頭（前年60.0頭、平年87.6頭）と平年並であった。



防除上注意すべき事項

7～8月は幼虫の防除適期（1～2齢期）に当たるので、常発地域では防除適期を逸しないようにする。

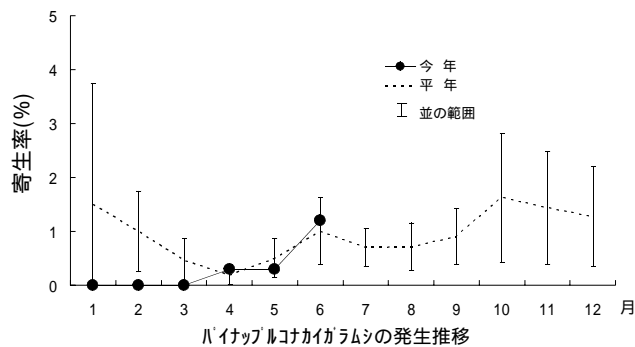
2 パインアップル

(1) パイナップルコナカイガラムシ

発生程度：並

予報の根拠

6月中旬の調査の結果、寄生株率は1.2%（前年4.7%、平年1.0%）と平年並みであった。



防除上注意すべき事項

- a 本種は葉の重なった部分に多く寄生するため、薬剤散布時には各部位に十分かかるように散布する。
- b 植え付け時には、種苗消毒を実施する。

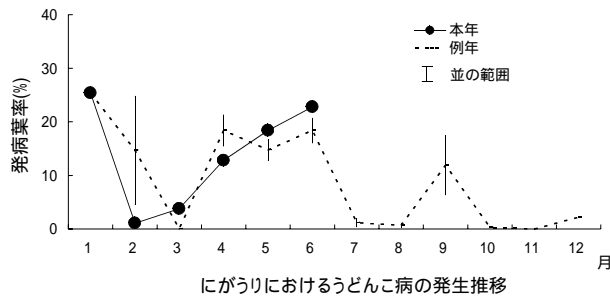
3 ニガウリ(施設)

(1) うどんこ病

発生程度：やや多

予報の根拠

6月の調査の結果、発病葉率は22.8%（前年14.0%、例年18.4%）と平年よりやや多かった。



防除上注意すべき事項

- 窒素質肥料の多用や偏用を避ける。
- 老葉や病葉を除去し、透光通風をよくする。
- 多発すると防除が困難になるので早期発見・早期防除に努める。

詳しくは下記へお問い合わせ下さい



沖縄県

沖縄県病害虫防除所

本 所 〒903-0814 那覇市首里崎山町4-222
☎ 098-886-0227
FAX 098-886-0242

宮古駐在 〒906-0012 平良市西里2071-40
☎ 0980-73-2634
FAX 0980-72-6474

八重山駐在 〒907-0003 石垣市平得地底原1178-6
☎ 0980-82-4933
FAX 0980-83-1157